

公民連携で樟葉駅前広場にデジタルサイネージ設置 道路空間で情報発信する社会実験をスタート

市は、株式会社京阪流通システムズと連携し、樟葉駅前広場におけるデジタルサイネージを活用した情報発信等の社会実験を令和6年4月からスタートする。

同広場にデジタルサイネージを2台設置し、即時性をもった市政情報の発信に加え、広告収入による芝生広場の維持管理財源捻出の可能性やその持続性などについて検証する。

市と株式会社京阪流通システムズは、本社会実験の実施に関する協定書締結式を2月1日に実施。検証期間は令和6年度～令和8年度の3年間。

市担当者は「道路空間をフィールドとしたもので、公共空間の維持管理費用の捻出にもつながる公民連携の可能性を示す価値ある事業となることを期待する」と話す。

★樟葉駅前広場では、公共交通の利用環境の改善や賑わいあふれる駅前空間の創出に向け、令和5年10月より広場内への天然芝生設置など、環境整備工事を行っている。

一方で、同広場にはバス乗り場や周辺施設の案内表示がなく、芝生広場の利用ルールなども併せた情報発信ツールの確保や、芝生広場の良好な維持管理が課題となっており、民間企業と本市の対話の窓口として設置している「公民連携プラットフォーム」で株式会社京阪流通システムズからの提案を受け、課題解消に向けて取り組んでいく。

★株式会社京阪流通システムズは、デジタルサイネージの広告配信により得られた収入の一部を同広場の維持管理費用として市へ還元する。なお、デジタルサイネージの設置・維持管理に要する費用のほか、電気料や通信料など運用に要する費用を含めた本社会実験に関する費用の全てを株式会社京阪流通システムズが負担する。

★市は、市政情報コンテンツの作成、民間広告内容の審査・承認、デジタルサイネージ設置場所の提供を行う。



写真左：伏見市長
写真右：株式会社京阪流通システムズ 松下代表取締役社長



※芝生広場の完成イメージパース

<お問い合わせ>

土木部土木政策課

☎ : 050-7102-6505 FAX : 072-841-4605